

知内小における国語 (A・B) の状況

◇得意な問題

問題形式が短答・選択式のもので、「漢字の読み書き」、「目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話すことを選択する」ものなど。

▲苦手な問題

問題形式が記述式のもので、「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめる」ものなど。

正解率が高い問題 (正解率：92～96%)

—— 部の漢字の読みを、ひらがなで、-----部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

・ 期限 ・ 事務室 ・ 指示

「事務室」を「じむしょ」と読み間違う誤答が見られた。

・ たいしょう ・ きぼう ・ おいて

「たいしょう」を「対称」や「大将」などと書き間違う誤答が見られた。

正解率が低い問題 (正解率：32～46%)

【話し合いの様子の一部】

横山 あまんきみこさんの「きつねの写真」を読んで、心に残ったところはどこかな。
 原 (③を示しながら)「あたりの木がいつせいにぎざぎざとゆれてよびました」というところで
 A 感じがすると思ったんだけど。
 大岩 そうだね。 A ことといえは、松ぞうじいさんとび吉はきつねだったのかな。
 田中 二人を写したはずの写真にきつねが写っていたんだから、きつねだよ。
 原 ④からそう思うの。
 田中 (④を示しながら)「山野さんは、むかいあったふたりをばちりとうっしました」とあるでしょ。
 横山 そうだね。それに、(⑤を示しながら)「き、きつねの写真だ」と書いてあるしね。
 原 二人を写したはずの写真にきつねが写っているってことは、やっぱりきつねなのかな。
 大岩 きつねだよ。他にもきつねって考えられるところはあかな。
 田中 (②を示しながら)「ここで、松ぞうじいさんが「ついできなせえ」と言っているところがあるでしょ。私は、ここからもきつねってわかる気がするんだけど、どうかな。
 原 私もそう思う。松ぞうじいさんは、きつねだからきつねのすんでいた穴の場所を知っていて、案内できたんだよね。田中さんの言いたいことはそういうことではないのかな。
 田中 そうそう。
 横山 (①を示しながら)「ここにもあるよ。」「人間にうちどられたり」と書いてあるけれど、もし、松ぞうじいさんが本当に人間なら、「人間に」とか「うちどられた」とは言わな
 いと思うから、松ぞうじいさんはきつねだと考えることもできるね。
 田中 そこからも、松ぞうじいさんがきつねだと考えられるね。他にも見つけたよ。
 B

三 【話し合いの様子の一部】の中の B のところで、田中さんは、【物語の一部】の言葉や文を取り上げながら、松ぞうじいさんやとび吉がきつねであると考えたわけを話しています。あなたが田中さんならどのようなわけを話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉
 ○ の横山さんのように、【物語の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○ 取り上げた言葉や文をもとに、どうして松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えるのかを書くこと。

○ 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

誤答について 正答条件は、問題の3つの条件を満たすことである。問題条件の1つしか条件を満たしていない解答、または、条件を無視した解答と合わせて、誤答率約76%であった。

知内小における算数 (A・B) の状況

◇得意な問題

2つの数量の関係を理解し、乗法で表す問題や最小公倍数を求める問題。

▲苦手な問題

基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を言葉や式を用いて記述する問題。

正解率が高い問題 (正解率: 88~100%)

① 1 mあたりの値段が60円のリボンを何mか買います。

3mを「360」と計算した誤答が見られた。

そのときの代金の求め方を考えます。

(1) リボンを2m買ったときの代金はいくらですか。また、リボンを3m買ったときの代金はいくらですか。それぞれ答えを書きましょう。

③ 8と12の最小公倍数を書きましょう。

「96」のように最小ではない公倍数を求めた誤答が見られた。

正解率が低い問題 (正解率: 12%)

⑤ 月は地球のまわりを回りながら、地球に近づいたり、はなれたりしています。月の大きさは実際には変わりませんが、月が地球に最も近づいたときに、最も大きく見え、地球から最もはなれたときに、最も小さく見えます。地球から見える満月を円とみて、最も大きく見えるときの見かけの直径を「最大の満月の直径」、最も小さく見えるときの見かけの直径を「最小の満月の直径」ということにします。

「最大の満月の直径」と「最小の満月の直径」を比べたとき、「最小の満月の直径」をもとにすると、「最大の満月の直径」は約14%長いです。

月の直径を、硬貨の直径に置きかえて考えます。

1円玉、100円玉、500円玉の直径は、それぞれ下のとおりです。

硬貨の種類とその直径

1円玉	100円玉	500円玉
		
20 mm	22.6 mm	26.5 mm

(2) 「最小の満月の直径」を1円玉の直径としたときに、「最大の満月の直径」をもとにして14%長くなっている「最大の満月の直径」は、100円玉と500円玉のどちらの直径に近いですか。

下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

また、選んだ硬貨のほうが「最大の満月の直径」に近いと考えたわけを、言葉や式を使って書きましょう。

1 100円玉

2 500円玉

誤答について

正答は、示された基準量と割合を基に、選択した硬貨が「最大の満月の直径」に近いと考えた理由を、例えば、次のように筋道立てて考える。

◇「最小の満月の直径」を1円玉の直径20mmとしたときに、1円玉の直径を基にして14%長くなっている「最大の満月の直径」に当たる値は、20mmの1.14倍の22.8mmになると捉える。

◇22.8mmと100円玉、500円玉それぞれの直径の差を捉える。

◇それぞれの差を比較し、100円玉の直径の方が「最大の満月の直径」に近いと判断する。

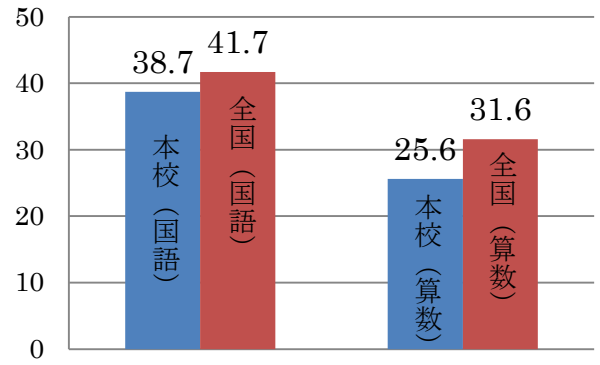
誤答は、「14%長い」という表現から、「最大の満月の直径」の86%が「最小の満月の直径」に当たると誤って捉え、100円玉や500円玉の直径の86%に当たる長さを求めて比べていると考えられるものが多い。

知内小の課題

今年度も両教科の共通課題として、「選択式」や「短答式」の正解率に比べて、「記述式」の問題形式に対する苦手意識が見られます。その背景には、①問題で提示されている条件を満たすことが苦手である、②グラフや図から読み取ったデータの整理が不正確である、③自分で説明する文章を考え、構成する機会が少ない、などが考えられます。自らのノート作りをすることで、構成力を身に付け、①～③の克服を目指す必要があります。



記述式問題の正解率
(本校と全国平均との比較)



国語の学習改善

- 日常生活において、礼状や依頼状、案内状などの実用的な文章（手紙）を書く経験を積む。
- 国語辞典や漢字辞典の活用機会を増やし、言葉・漢字へのかかわる習慣作りをする。
- 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。
- コラムの書き方に注意して読む。コラムを多読したり、比べ読みをしたりする機会を多くする。
- 登場人物の相互関係を構造的にとらえることができるようにする。文中の様々な描写から登場人物の行動や性格、心情の変化などを読む機会を多くしていく。
- 提示されている条件がある場合は、線を引いたり、書き出したりしながら、正確に読み取る。
- 話し言葉と書き言葉の違いをおさえ直す。



算数の学習改善

- 図や数直線を使って考えるノート作りを意識する。
- 基準量、比較量、割合の関係を把握し、比較量と割合をもとにして基準量を求めることができるように練習する。
- 日常生活の事象の解決に、割合や単位量当たりの大きさを活用して、処理できるような学習を取り入れる。
- 問題解決に向けて、文章をしっかりと理解するため、今分かる情報を整理しておさえる。
- 問題文に着目し、記述の条件は何かを読み取り、すべて満たして答えられるようにする。

2割引き？



日常生活改善

- 平日の学習時間が1時間未満の児童が多い（60%）ので、早期に家庭での学習習慣の確立をする。

ゲームをする時間が長く（52%）、テレビやゲームをする時間などのルールがない（44%）こと等の解消を目指す。

